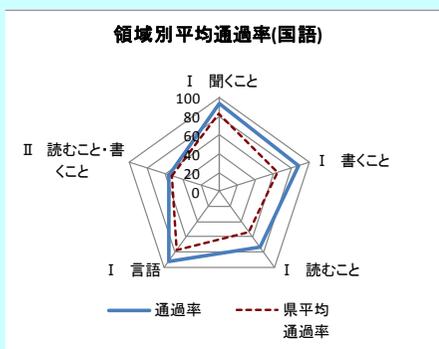
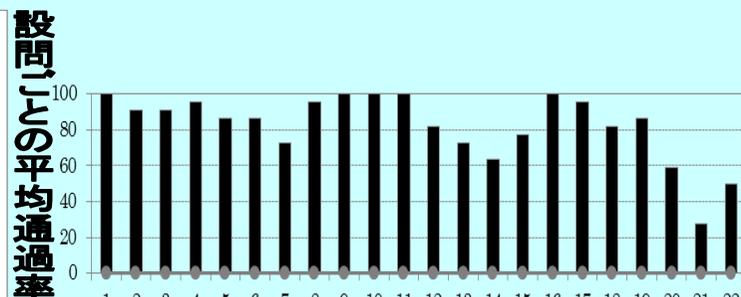


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 82.4%, 県 68.0%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

- 国語の結果において、タイプⅠは86.8%、タイプⅡは55.7%の通過率となっている。県平均と比べると、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、国語辞典の利用と言葉の意味理解、叙述を基にした情景の読み取りや、読み取ったことを基に自分の考えを記述することに課題がある。また、タイプⅡの「読むこと書くこと」の領域では、昨年度が20%～24%、今年度が55.7%と引き続き課題が見られた。資料から必要な情報を取り出して情報を関係付けて書く力が弱い。
- 昨年度は、漢字やローマ字の書き取り、文章や設問の正確な読み取りに課題が見られた。漢字やローマ字については反復練習と丁寧な評価、読み取りについては必要な情報や叙述に線を引いたり丸で囲んだりする指導を行った。その結果、今年度の通過率は、86.3%～100%であった。改善指導の成果が見られると言える。

重点課題

【課題1】

読むことの領域において、叙述を基にして人物の心情を想像し、自分の考えを記述することに課題があり、通過率が63.6%であった。

【課題2】

読むこと書くことの領域において、情報を取り出し、情報を関係付けて記述する力に課題があり、通過率が27.3%であった。複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関連付けて書いたり、説明したりすることができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

授業の中で、叙述を基に読み取った心情や情景について自分で考えを整理し、書くことができるようにする。(ワークシート・ノート・授業のまとめ・振り返りなど) また、児童のノート掲示板を活用する。

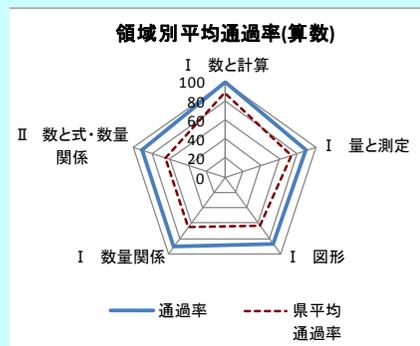
【課題2】

授業の中でワークシートを活用し、問いに対しての答え方を指導する。(文末表現など) 大崎小タイムで取り組んだ読解力ノートの書き取り問題を繰り返し取り組み、複数の資料から必要な情報を取り出し、関連付けて書く問題を解く機会を増やす。単元を貫く言語活動を位置付けた授業を学期に1回は行う。

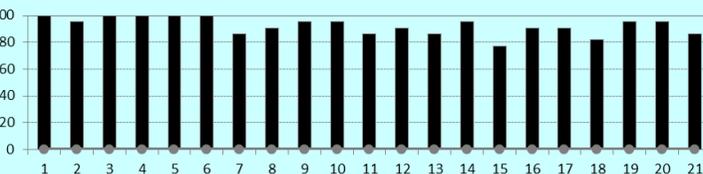
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4学年「ごんぎつね」 単元末テスト		4学年「世界一美しいぼくの村」単元末テスト		6学年「将来の生き方について考えよう」単元末テスト	4学年 H29「基礎・基本」
目標値		80%		85%		85%	80%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5学年「資料を生かして考えたことを書こう」単元末テスト		4学年「くらしの中の和と洋」単元末テスト	4学年 H29「基礎・基本」	5学年「伝えよう、委員会活動」単元末テスト	4学年「報告します、みんなの生活」単元末テスト	
目標値	80%		80%	70%	80%	85%	
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 92.4%, 県 74.3%)

領域別平均通過率



算数ⅠⅡの標準率



本年度の結果について

- 算数の結果において、タイプⅠは91.4%、タイプⅡは90.0%の通過率となっている。県平均と比べると、基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられる。特に「数と計算」「数量関係」はともに90%以上の通過率であり、着実に力が付いてきていると考えられる。
- 昨年度はタイプⅡに課題が見られた。そこで、帯タイムや授業等で活用問題を解く取組を行ってきた。その結果、タイプⅡの通過率が90%を超えた。一方で、2つのグラフを関連付けて解決する問題など、筋道立てて考え、論理的に説明する力に課題がみられる。

重点課題

【課題1】

コンパスを使って平行四辺形を作図する問題では、平行四辺形の「向かい合う辺の長さが等しい」という性質と、コンパスで等しい長さを測り取ったり移したりする道具であることへの理解が不十分であり、平行・角・対角線に関する解答を選ぶ児童が22.7%いた。

【課題2】

2つの折れ線グラフを関連付けて特徴や傾向を読み取り、説明を書く問題では、問題文の意図を理解することでできているものの、片方の情報だけを記述したり、目盛りの幅に関する記述をしたりする児童が18%見られた。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

正方形や三角形、平行四辺形などの図形の性質や定義を理解させる。
コンパスなどの道具の操作に慣れ親しませながら、使い方を理解させる。

【課題2】

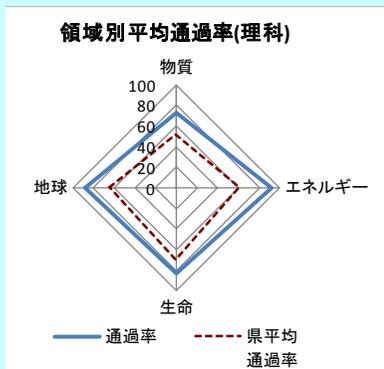
グラフを使った問題に触れさせる機会を増やし、2つ以上の情報から読み取り、理解する力を付ける。また、様々なグラフや表を関連付けて説明する力を付ける。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4学年「垂直と平行と四角形」 大崎小タイム		3学年「円と球」 大崎小タイム		4学年 H29「基礎・基本」	5学年「まとめテスト」 単元末テスト
目標値		80%		80%		80%	85%
実施後数値							

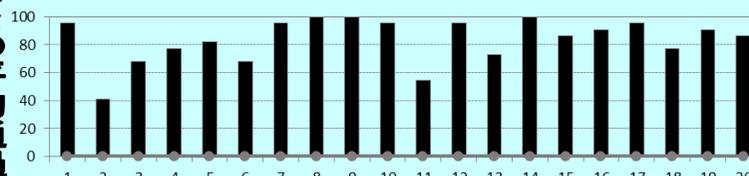
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4学年「折れ線グラフ」 大崎小タイム	6学年「拡大と縮小」 単元末テスト			3学年「表とグラフ」 単元末テスト	4学年 H29「基礎・基本」	5学年「まとめテスト」 単元末テスト
目標値	80%	80%			80%	80%	85%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 83.6%, 県 61.7%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

- 理科の結果において、タイプⅠは、88.8%、タイプⅡは77.1%の通過率となっている。県平均と比べると、基礎的・基本的な内容については定着が図れていると考えられる。基礎的・基本的な内容について繰り返し学習を重ねてきたことが、児童への定着につながったと考える。「物質」の領域において昨年度と同様に、通過率の低いものが多い。教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力は、十分に身に付いてはいない。
- 昨年度は、単元末に身の回りの自然現象について、学習したことを生かし説明させる学習活動を取り入れ、「何が」「何によって」「どうなった」のかを明確にして、考察させるようにしてきた。しかし、児童の回答を見ると、必要とされる条件を満たさないものが多く、条件を揃え、分かりやすく現象の理由等を説明することに課題がある。

重点課題

【課題1】

適切な検証方法の選択の問題に課題がある。(イ)の検証方法が適切と選択した児童が72.7%であったにもかかわらず、なぜその検証方法が適切かを説明することができていない。(通過率40.9%)

【課題2】

日光を重ねた時のあたたかさについての問題に課題がある。記号は選んでいるが、わけの中に、光を重ねるほど温度が高くなるという科学的な説明が欠けているものが36.4%だった。(通過率68.2%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

4学年「とじこめた空気や水」の単元で、とじこめた空気や水をおして、押し返す力や体積の変化について学習しているが、それを検証する実験方法を考える際に、なぜその方法がよいのか理由を説明させることが不足している。問題解決学習の過程の中で、理由をはっきりさせて説明させる学習活動を設定していく。

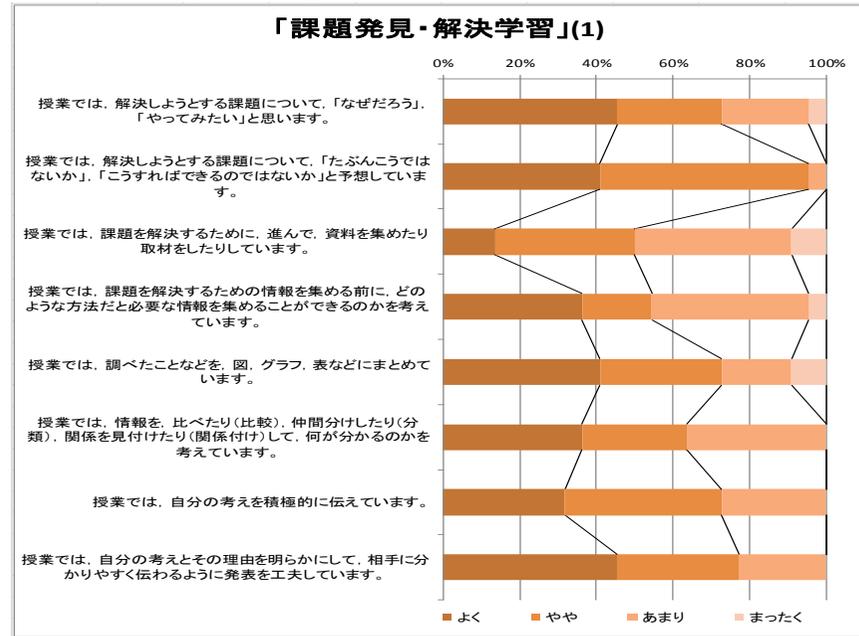
【課題2】

3学年「光のせいしつ」の単元で、日光をはね返したり、集めたりしたときの、明るさやあたたかさ、日光の進み方を学習しているが、考察させる際に、仮説と結果、結果と考察の関係をはっきりさせて、児童自身に自分の考えを説明させることが不足している。「何が」「何によって」「どうなった」のかを明確にし、キーワードや記述しなければならない条件を用いて説明させる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4学年 「とじこめた空気や水」単元末テスト		4・5学年 学期末テスト	4学年 「3年のまとめ」	4学年 H29「基礎・基本」	3・4・5学年 学年末テスト
目標値		85%		85%	80%	60%	85%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3学年 「光のせいしつ」単元末テスト	4・5学年 学期末テスト		4学年 H29「基礎・基本」	3・4・5学年 学年末テスト
目標値			85%	85%		80%	85%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

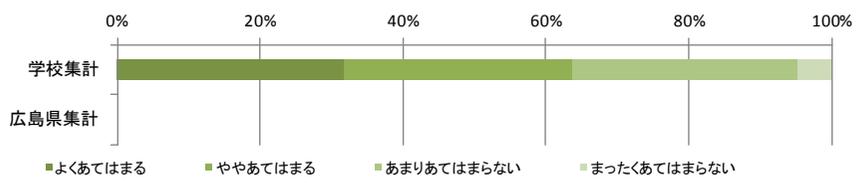
(1) 生活・学習



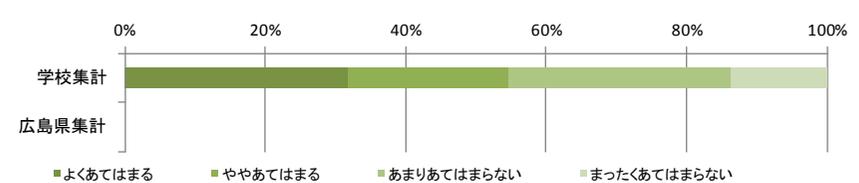
児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「授業では解決するために進んで資料を集めたり取材したりしている。」が50%、「どのような方法だと必要な情報を集めることができるかを考えている。」が54%である。	総合的な学習の時間に、町の産業・伝統文化等について学習することを通して、子供たちに興味関心をもたせ、地域の方に取材をしたり、調べ学習をしたりする活動を取り入れる。 国語科、社会科での学習を生かし、資料や自主的に集めた資料を基にした新聞や作品づくりを行う。	3～6学年	80%	児童アンケート調査	学年末		

(2) 教科

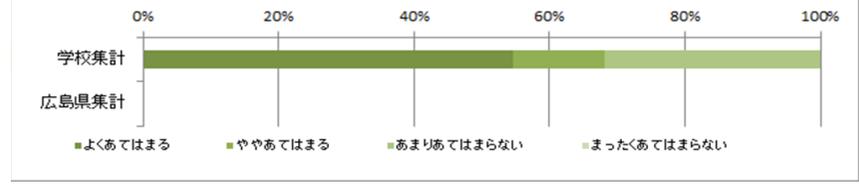
国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では観察や実験を行う時は、その目的は何かを意識しています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業で、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。」の項目であてはまる63.6%である。	国語の授業のまとめや振り返りを書かせて、グループで交流する。児童のノート掲示板を有効に活用して評価する。	全学年	80%	児童アンケート調査	学年末		
算数	「式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題をつくらしたりしています。」が54.5%である。	演算決定の理由や数が表す意味を考えさせる。 式に当てはまる問題作りを取り組ませる。	全学年	80%	児童アンケート調査	学年末		
理科	「理科の授業では観察や実験を行う時は、その目的は何かを意識しています。」の項目で「あてはまる」が68.2%である。	観察や実験を行う際に、予想や考察の場面で、なぜその方法がよいのか理由を考えて説明させる活動を取り入れる。	3～6学年	80%	児童アンケート調査	学年末		